

# 子育て支援と大学教育 ー学生参画とトランジションー

ー聖徳大学学術研究高度化推進事業社会連携研究推進事業『連鎖的参画による子育てのまちづくりに関する開発的研究 平成17～21年度研究集録』よりー

2019年3月17日 聖徳大学生涯学習研究所  
シンポジウム「大学における生涯学習の未来を考える」

聖徳大学兼任講師 西村美東士

(板橋区大原生涯学習センター社会教育指導員)

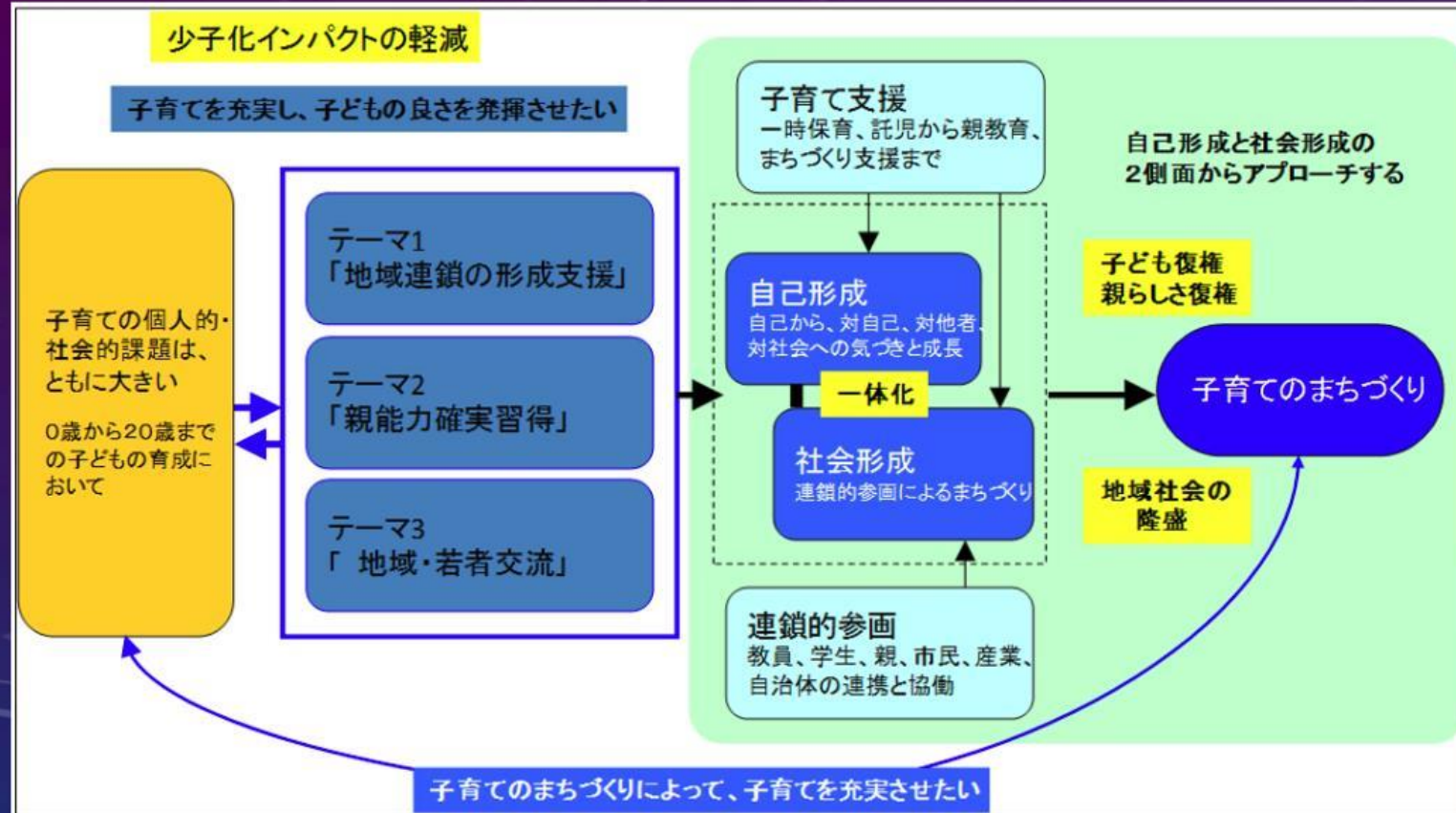
# トランジションへの注目

- ✓西村みとしHP→自著データベースの公開→トランジション
- ✓トランジション＝学校から社会へのスムーズな移行
- ✓人事領域においては、キャリア発達の過程で注目され、人に大きな変化をもたらす重大な局面（クライシス）であると同時に、それまでの経験を見直し、新しい選択肢や変化をもたらす転機でもあるとされる。
- ✓溝上氏は、トランジションとの関係を明らかにする必要を説く。単に就職できたかどうかではなく、就職後の適応状況を見なければならぬと言っているのである。調査結果からは、とくに大学1・2年生時におけるキャリア意識及び自主学習や主体的な学修態度が組織への適応に結びつくことが明らかになった。クラブ・サークル活動やアルバイトによる「豊かな人間関係」については、「良質な友達づきあい」以上の質が求められ、異質な他者からの影響が大きいことが示唆された。なお、「勉学第一」とした者は良い結果にならなかった。

# 本研究の概要

## 自己形成と社会形成の一体化 聖徳大学平成17～21年度『連鎖的参画による 子育てのまちづくりに関する開発的研究』より

研究紹介

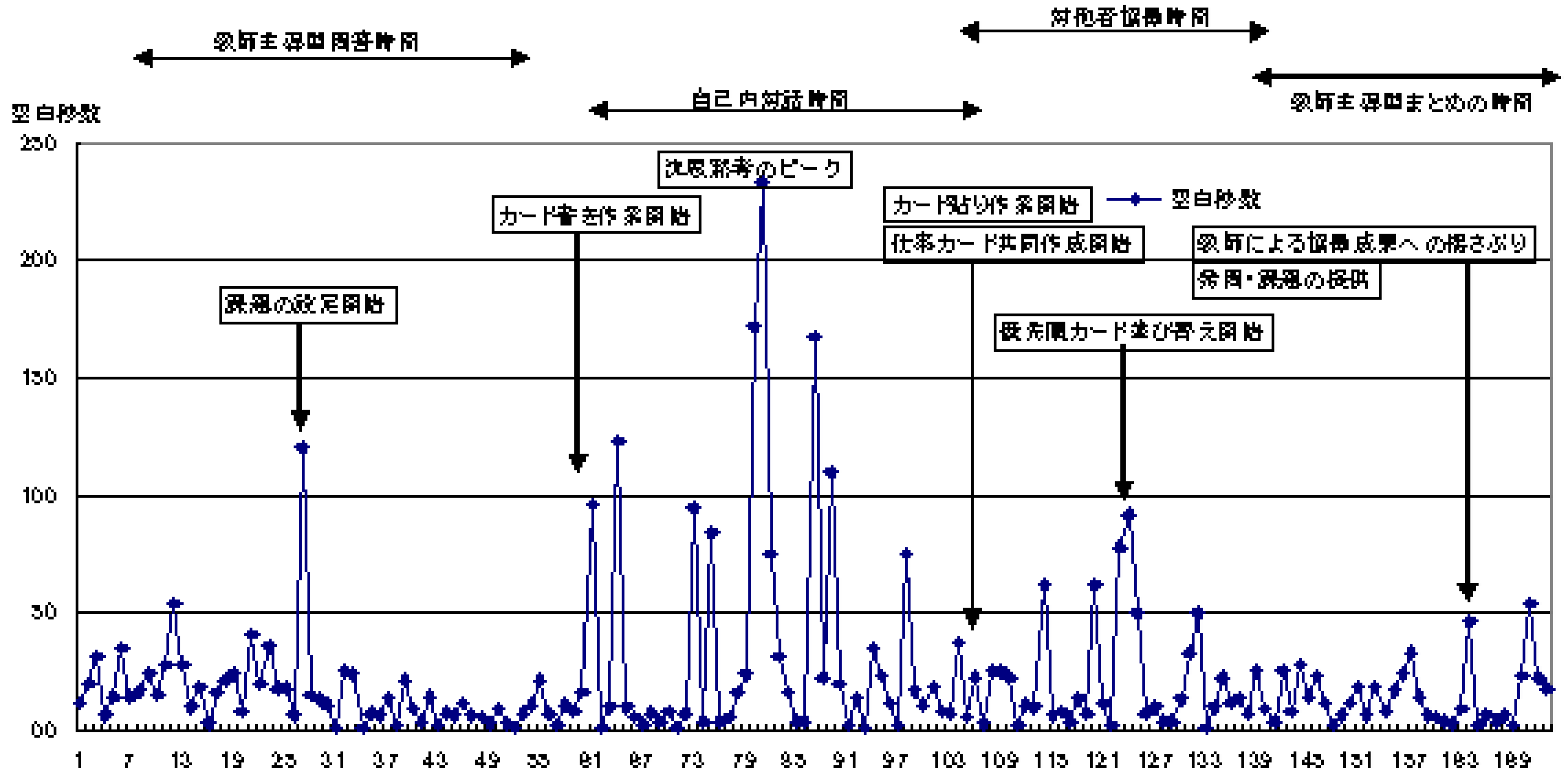


行政まかせ、専門機関まかせの住民ではなく、まちや社会の主人公としてプライドを持ち、その姿を子どもたちに示すことのできる住民像を実現する。

# クドバスチャート「出産自己決定のための必要能力」

	能力-1	能力-2	能力-3	能力-4	能力-5	能力-6
1 夫や親と協力する	1-1 A 不安を乗り越えて出産を決断できる	1-2 A 夫婦げんかをしないで仲良くすることができる	1-3 A 夫と子育てを協力することができる	1-4 B 夫に自分の体調を理解してもらえる態度がとれる	1-5 B 自分の親に協力してもらえ態度がとれる	1-6 B 舅姑とうまくやっていく態度がとれる
	1-7 C 妊娠を望まないときには避妊するよう夫にお願いできる	1-8 C 夫に家事を手伝ってもらうことができる	1-9 C 夫の会社の育児休暇がどれくらいあるか知っている			
	2-1 A 出産・育児に必要なおおよその費用を知っている	2-2 A 出産に関する補助金を知っている	2-3 B 子どもができて家計をやりくりできる	2-4 C 夫が仕事を辞めないように励ますことができる		
3 体調を管理する	3-1 A 妊娠や出産に関する病気について知っている	3-2 B 何が母子の体にとって良いか悪いか知っている	3-3 B 自分や相手の病気に立ち向かう態度がとれる	3-4 C 自分の情緒を安定させることができる	3-5 C 出産後もスタイルを保つことができる	
	4-1 A 妊娠のシステムについて知っている	4-2 B 出産に必要な書類作成や手続きができる	4-3 C 胎教にいい曲を知っている			
4 出産に必要な情報を得る	5-1 A 母としての自覚を持ち、責任を持ってわが子の世話ができる	5-2 B 家に最も近い産婦人科を知っている	5-3 B 料理がうまくなる（子どもの成長に合ったものができる）	5-4 C 子育てのために体力トレーニングの方法を知っている	5-5 C 階段などの危険な場所を知っている	5-6 C 赤ちゃんの服などを売っている所を知っている
	6-1 A 育児に関する相談窓口を知っている	6-2 A 自分の周りの子育て経験者から子育て情報を得ることができる	6-3 B 育児に関する公共機関・施設を知っている	6-4 B 相談できる友人を探すことができる	6-5 C 交通の便が良い所に住むことができる	6-6 C 近くに良い公園を知っている
5 子育てに必要な情報を得る						
6 地域で暮らす						

# 教師の指導内容と空白時間－自己内対話とワークの深化





# 子育て学の体系化－学問をつくりだす学生たち 社会開放型子育て観への転換とトランジション

